

希 望

【学校教育目標】「皇子山中学校・校区」を愛し、校区の次代を担う生徒

令和8（2026）年3月12日発行

第11号 生徒数：705名

やっぱり皇中が好き♡

姿勢 ～素直・感謝・謙虚～

いよいよ今年度も残すところ、あとわずかとなりました。1・2年生の皆さんは新年度に向け、それぞれの準備を着々と進めてくれていることと思います。そして、先週には卒業生を無事に送り出してくれました。体育館の準備や教室の飾り付けなど率先してよくがんばってくれました。ありがとうございます。次は、希望と期待を抱き入学してくる1年生を温かく迎え入れあげてください。そして、4月からは「憧れの先輩」として、学校生活をリードして行ってほしいと思います。

卒業式の式辞の抜粋を掲載します。1年後、2年後の自分自身の姿を思い浮かべながら、改めて読み、今後の生活に活かしてほしいと思います。

3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。この3年間で、みなさんは心身ともに大きく成長しました。特に、最高学年として過ごしたこの1年は、学校のリーダーとしての責任感を持ち、後輩たちの「憧れの先輩」として、皇子山中学校を支え、けん引してくれました。印象に残っているのは体育祭で新たに企画してくれた部活動対抗リレーでの爆笑パフォーマンス！文化祭での団パフォーマンスでの圧巻の演技。生徒会執行部による劇「青春の刃」。脚本から創り上げ、とっても楽しい内容でした。今も深く記憶に残っています。そして、行事ばかりではなく、あいさつ運動やごみゼロの取組、朝の放送、図書当番、ビギンオンチャムコンペ等、生徒会の各種委員会の活動も工夫を凝らし、活発に取り組んでくれました。3年生が中心となった取組が、活気のある、誰もが過ごしやすい皇子山中学校を創ってくれました。本当によくがんばってくれました。ありがとう。

さて、巣立ちゆく皆さんに私からはなむけの言葉として、これからの人生を歩んで行く上で、大切にしてほしいことをお伝えしたいと思います。

それは、言い古された言葉ではありますが、「出会いを大切にしてほしい」ということです。簡単そうで、いい出会いをするというのは難しいものです。そして、ただ、じっと待っているだけではいい出会いに巡り合えないかもしれません。そのために、大事なものは、日々の生活を送る上での「姿勢」です。人と関わったり、物事に取り組む時には、そのことに向かう「姿勢」というものがあります。別の言葉でいうと、「心の持ち様」とも言えるでしょう。どんな「心の持ち様」かということ、それは3つあります。1つ目は「はい」と言える素直な気持ち、2つ目は「ありがとうございます」と言える感謝の気持ち、そして、3つ目は「ごめんなさい」と言える謙虚な気持ちです。この姿勢や心の持ち様が、あなた方に、きつといい出会いをもたらしてくれるものと思います。そして、その出会いを後押しするのが、心の奥底から湧き上がってくる「情熱」です。こんな言葉もあります。「人間の能力に大きな差はない。あるとすれば、「情熱」の差だ。」知識も技術も、「情熱」があれば、後からついてきます。人や物との出会い、スポーツや書物、言葉との出会い、また、風景との出会いもあるかもしれません。そんな心が揺さぶられる感動の出会いをし、「情熱」を持って打ち込んでみてください。人間は可能性の生き物です。人間は、出会いによって感動し、打ち込み、そして、大きく成長します。ぜひ、日々の姿勢を大切にいい出会いをしてほしいと願っています。

最後に、私の好きな言葉に「元気があれば、なんでもできる」という言葉があります。体を大事に、自分を大事にして、青春を謳歌し、激動の未来をたくましく生き抜いてください。皆さんの明日からの前途に幸多からんことを祈念して、私の式辞といたします。

令和8年3月6日
校長 山田 知里雄

小学校6年生向け 入学説明会

2月中旬、生徒会執行部の生徒たちが、来年度本校に入学してくる6年生に向けて、各小学校を訪問し、入学説明会を行いました。中学校での生活や学校行事、部活動の様子などについて、自分たちの言葉と工夫を凝らしたスライドを使って紹介してくれました。はじめは少し緊張した様子も見られましたが、6年生に安心してもらうと一生懸命に伝える姿が印象的でした。6年生にとっても、中学校生活を身近に感じるよい機会になったことと思います。生徒会執行部の活躍を頼もしく感じるとともに、春の入学を学校全体で心待ちにしています。



3月5日（木）、3年生を対象に同窓会入会式を行いました。同窓会長様からは、卒業を迎える生徒たちへの心のこもったお言葉をいただきました。その中で、ある著名人の言葉を引用し、次のようなお話がありました。「努力をしても簡単に裏切られることもある。しかし、努力をしなければ何事にもスタートラインには立てない。努力は、人生を豊かにするための小さな積み重ねです。」3年生は、その言葉に静かに耳を傾けていました。本校は、多くの先輩方によって長く支えられ、2年後には、創立80周年を迎えます。先輩方から受け継がれてきた歴史とつながりを大切にしながら、3年生がそれぞれの新たなスタートラインに立ち、歩みを進めていくことを願っています。

皇子山中学校同窓会 入会式



人生を豊かにするための小さな積み重ねです。」3年生は、その言葉に静かに耳を傾けていました。本校は、多くの先輩方によって長く支えられ、2年後には、創立80周年を迎えます。先輩方から受け継がれてきた歴史とつながりを大切にしながら、3年生がそれぞれの新たなスタートラインに立ち、歩みを進めていくことを願っています。

朝の人権放送

本校では代議員会の生徒が中心となり、毎月「人権放送」に取り組んできました。いじめについて考える内容や、道徳の授業で学び感じたことなど、さまざまなテーマを取り上げながら、生徒自身の言葉で全校に呼びかけてくれました。放送を通して、相手の立場に立って考えることや、互いを思いやることの大切さを改めて感じる機会となっています。

こうして続けてきた今年度の人権放送も、今月が最後となります。3月の放送では、3月11日の東日本大震災に触れながら、人と人とのつながりや支え合うことの大切さについて考える内容を伝えてくれました。生徒たちが自分たちの学校生活を見つめ直し、互いを大切にしながら安心して過ごせる学校づくりにつながっていくことを願っています。



今年度も保護者・地域の皆様に温かく見守っていただきながら、本校の教育活動を進めることができました。心より感謝申し上げます。また、生徒たちは学習や行事、日々の学校生活の中でさまざまな経験を重ね、大きく成長してきました。来年度も一人ひとりの歩みを大切にしながら、教職員一同取り組んでまいります。